

令和8年
(2026年)

4

そうごう 総合センターだより

かわにしし そうごう かわにしりん ぼ かん かわにしじ どうかん
川西市総合センター(川西隣保館・川西児童館)

かわにしし ひだかちよう ばん ごう
川西市日高町1番2号 ☎072(758)8398 Fax 072(758)2132



そうごう 総合センターは

じんけんけいはつ きよてん し せつ 人権啓発の拠点施設です

そうごう しゃかいふくしほう もと りん ぼ かん
総合センターは、社会福祉法に基づく「隣保館」と

じどうふくしほう もと じどうかん ふくごうし せつ
児童福祉法に基づく児童館の複合施設です。

総合センターの建設経緯と目的

総合センターは、部落差別の解消に向け起ち上がった人々の熱い願いによって、1980年(昭和55)年に建設されたもので、社会福祉法に基づく隣保館と児童福祉法に基づく児童館からなっています。

運営については、基本的人権尊重の精神を柱にしながら、子どもからおとしよりまで、さまざまな世代が気軽に楽しく交流できる取り組みを進めるとともに、多様な人権問題を自由に学びあえる「場」と「機会」を提供することを心がけています。

地域に暮らす一人ひとりが主役となって福祉のまちづくりが推進できるよう、また、人権啓発センターとしての機能も発揮できるよう、そのネットワークづくりに取り組んでまいります。

みなさまのご理解とご協力をよろしく
お願いします。 川西市総合センター



しゅ ししよ 趣旨書

とう げんかんみぎて じ むしよ ぶ しょうわ ねん せつりつとうじ あつ ねが する しゅ
当センターの玄関右手(事務所の向かい)には、1980(昭和55)年の設立当時の熱い願いを記した「趣

ししよ けいじ わたし せいしん う つ たが こせい かちかん い かた ちが みと
旨書」を掲示しています。私たちは、この精神を受け継ぎ、お互いの個性や価値観、生き方などの違いを認め

あ たようせい そんちよう さべつ しゃかい どうわ もんだい たよう じんけんもんだい かいしやう む
合い、多様性を尊重する差別のない社会をめざし、同和問題をはじめとし、多様な人権問題の解消に向けて

じんけんけいはつこうえんかい じやうえいかい かいさい じんけん かん そうだんまどぐち じっし
人権啓発講演会や DVD上映会の開催、人権やセクシュアルマイノリティに関する相談窓口などを実施してい

ます。

としよしつ じんけん かん さまざま ほん じどうしよ えほん やく さつ としよ ひとり さつ
また、図書室には、人権に関する様々な本や児童書、絵本など約4500冊あり、図書は、一人2冊まで2

しゅうかん じんけん へいわ かん ひとり ほん しゅうかん かした おこな
週間、人権や平和に関するDVDも一人2本まで1週間の貸出しを行っています。

あら さつ ほん ほん こうにゆう なか えほん しょうかい
新たに28冊の本と8本のDVDを購入しましたが、その中から絵本とDVDを紹介します。

えほん 『わたしはあかねこ』(文溪堂)は、白猫と黒猫の両親から生まれた真っ赤なねこが主人公で、周囲

いろ か しんばい どうじやう じぶん あか けな あい いえ と だ じゆう あゆ じこ
から「色を変えたら?」と心配・同情されますが、自分らしい赤い毛並みを愛し、家を飛び出し自由に歩む、自己

こうていかん たいせつ えが さくひん えほん こ けんり
肯定感の大切さなどが描かれた作品です。〈絵本〉『きかせてあなたのきもち 子どもの権利ってしてる?』

(ひだまり舎)は、こどもが自分の気持ちを大切に、主体性を持つことを応援し、こどもの権利と感情をテーマ

にした作品です。

〈DVD〉『君の景色を知ったとき それはだれにとっての当たり前?』は、多くの人にとっての「当たり前」に不

べん かん ひと き ひと ちから ささ あ たいせつ えが さくひん
便を感じる人がいることに気づき、それを人の力で支え合うことの大切さを描いた作品です。

ぜひご利用ください。

そうごう
総合センターだよりは、読みやすいフォント「UD(ユニバーサルデザイン)デジタル教科書体」を使用しています。